

令和4年度

全国学力・学習状況調査結果

(上尾市立小・中学校 概要)

令和4年4月19日実施



上尾市教育委員会

目 次

1 学力調査の概要	・・・	1
2 内容別調査結果の概要		
(1)内容別正答率	・・・	2
(2)分類・区分別正答率		
【国語】	・・・	3
【算数】	・・・	5
【数学】	・・・	6
【理科】	・・・	7
3 児童生徒質問紙回答結果 (生活習慣に関する質問事項を中心に抜粋)		
【小学校】	・・・	9
【中学校】	・・・	10
4 各教科の正答率の状況及び成果と課題	・・・	11

1 学力調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関連において自らの教育の結果を把握し、改善を図る。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善に役立てる。

(2) 調査の対象学年

- ア 小学校：第6学年
- イ 中学校：第3学年

(3) 調査期日

令和4年4月19日（火）

(4) 調査対象教科等

- ア 小学校：「国語」「算数」「理科」「質問紙調査」
- イ 中学校：「国語」「数学」「理科」「質問紙調査」

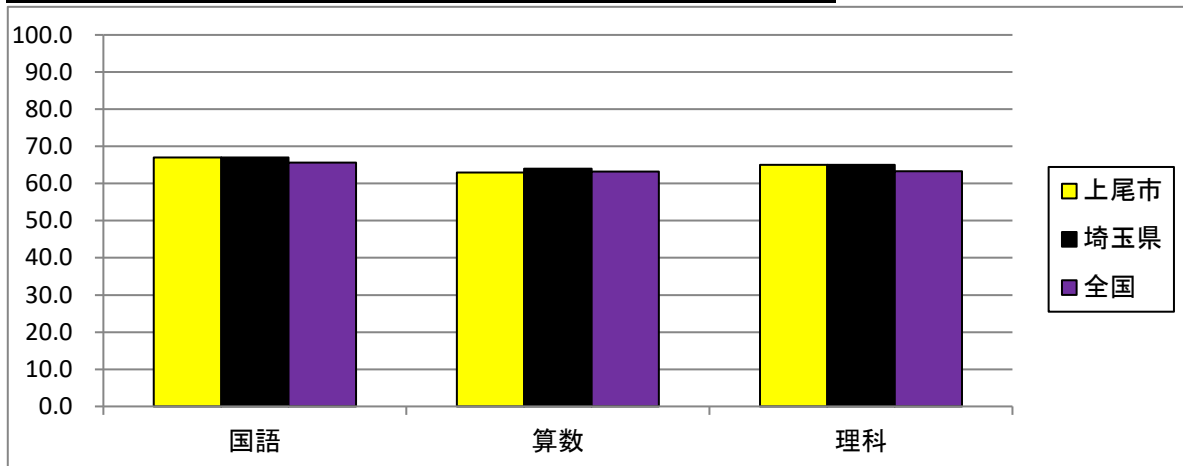
2 内容別調査結果の概要

(1) 内容別正答率

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

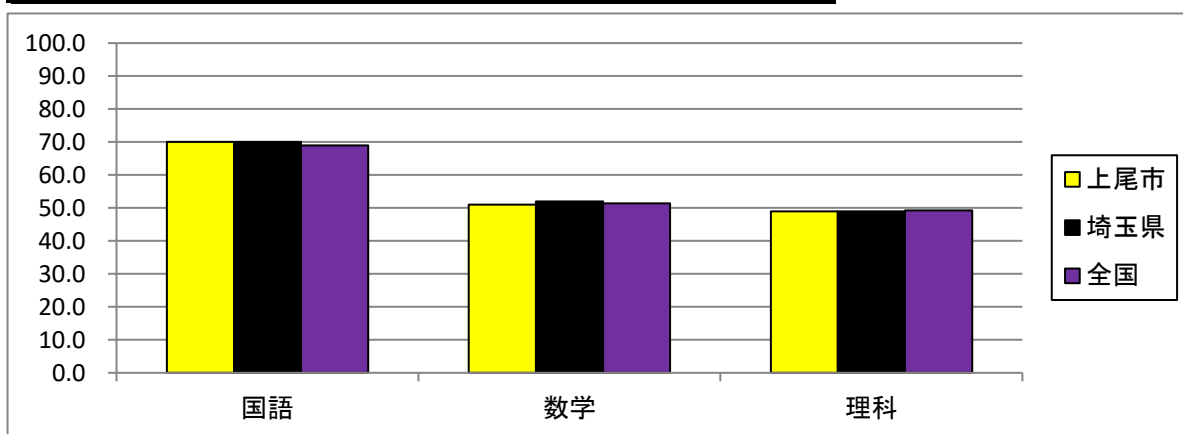
	国語	算数	理科
上尾市	67	63	65
埼玉県	67	64	65
全 国	65.6	63.2	63.3



国語は、全国の平均正答率を上回っているが、埼玉県とは同値である。
算数は、全国、埼玉県の平均正答率を下回っている。
理科は、全国の平均正答率を上回っているが、埼玉県とは同値である。

【中学校第3学年】

	国語	数学	理科
上尾市	70	51	49
埼玉県	70	52	49
全 国	69.0	51.4	49.3



国語は、全国の平均正答率を上回っているが、埼玉県とは同値である。
数学は、全国、埼玉県の平均正答率を下回っている。
理科は、全国の平均正答率を下回っているが、埼玉県とは同値である。

(2) 分類・区分別正答率

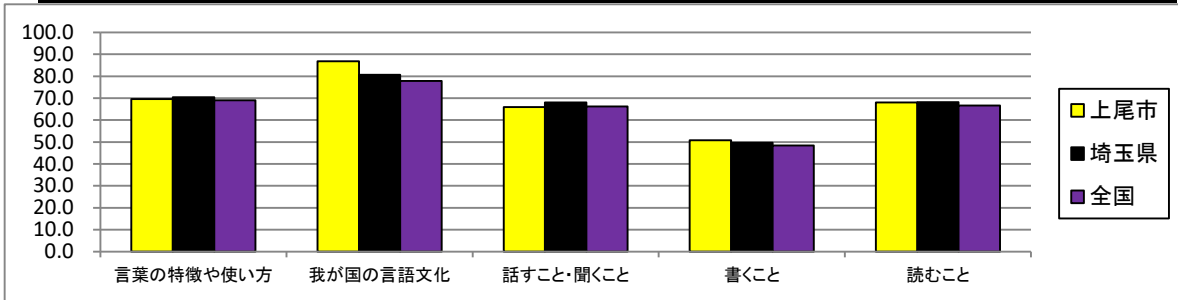
国語

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の内容別》

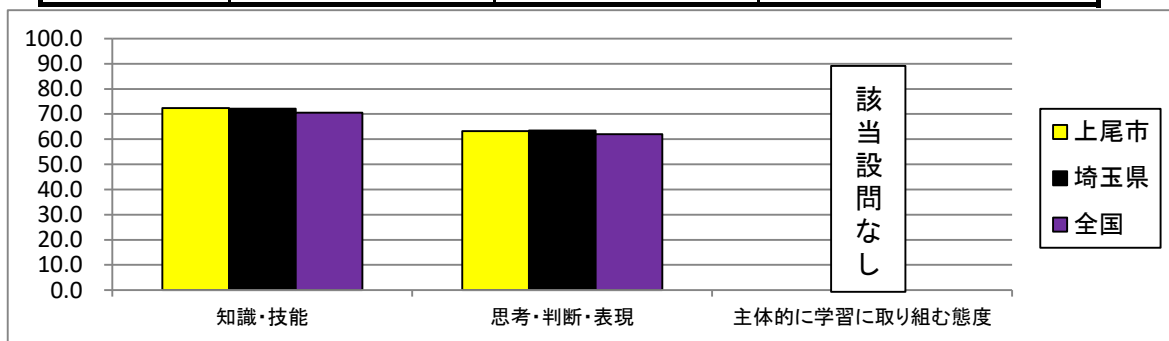
	知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等		
	言葉の特徴や使い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
上尾市	69.6	86.8	66.0	50.8	68.0
埼玉県	70.4	80.7	68.1	49.7	68.2
全国	69.0	77.9	66.2	48.5	66.6



思考力, 判断力, 表現力等における、「話すこと・聞くこと」以外は全て全国の平均正答率を上回っている。「話すこと・聞くこと」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

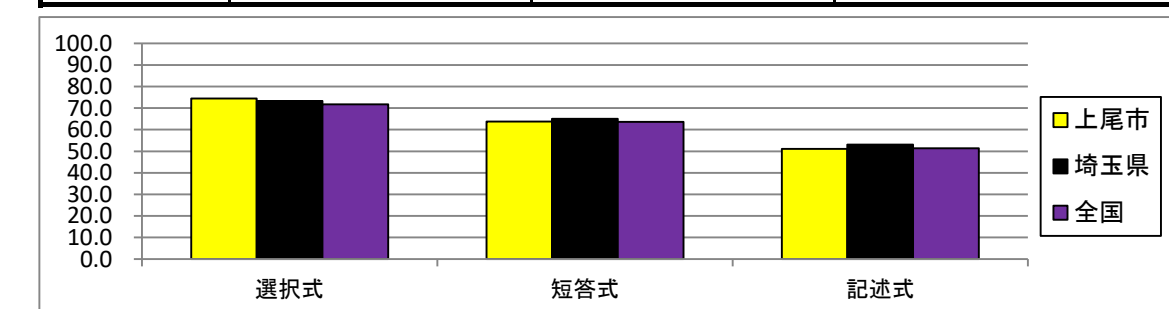
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	72.4	63.2	-
埼玉県	72.1	63.5	-
全国	70.5	62.0	-



「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国の平均正答率を上回っている。「思考・判断・表現」については埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	74.5	63.7	51.1
埼玉県	73.3	65.1	53.1
全国	71.8	63.6	51.3



「選択式」は全国及び埼玉県の平均正答率を上回っているが、「短答式」は埼玉県の平均正答率を下回っている。また、「記述式」は全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

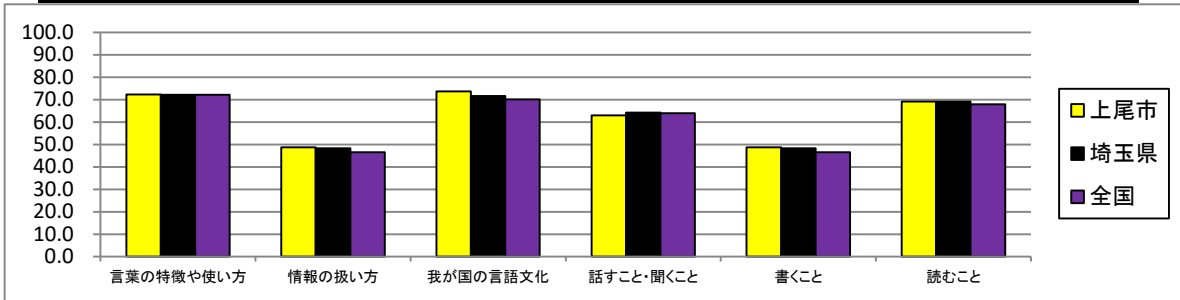
国語

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【中学校第3学年】

《学習指導要領の内容別》

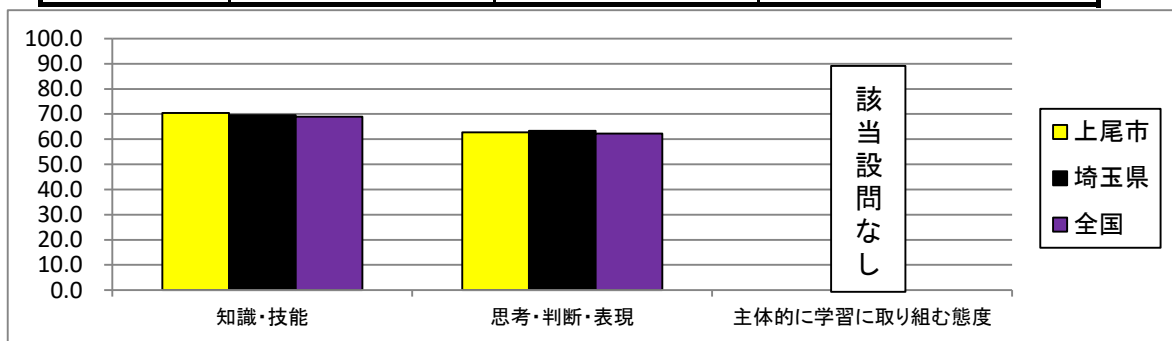
	知識及び技能			思考力, 判断力, 表現力等		
	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
上尾市	72.3	48.7	73.7	63.0	48.7	69.2
埼玉県	72.2	48.3	71.6	64.3	48.3	69.2
全国	72.2	46.5	70.2	63.9	46.5	67.9



思考力, 判断力, 表現力等における、「話すこと・聞くこと」以外は全て全国の平均正答率を上回っている。「話すこと・聞くこと」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

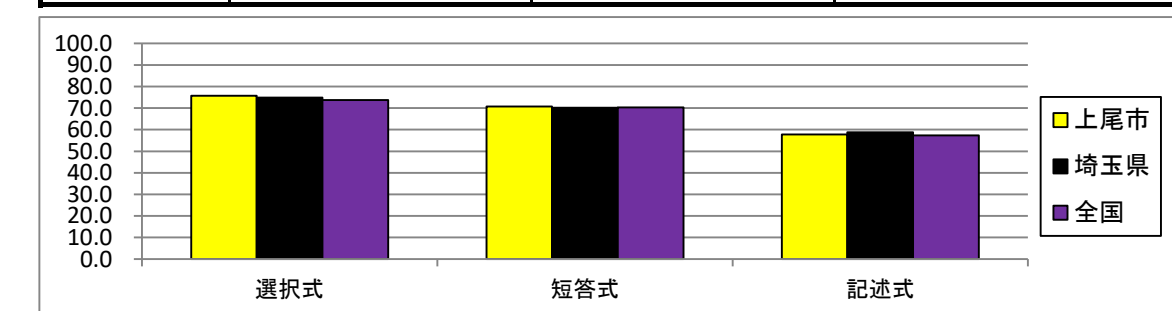
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	70.4	62.7	-
埼玉県	69.6	63.3	-
全国	69.0	62.3	-



「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国の平均正答率を上回っている。「思考・判断・表現」については埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	75.7	70.7	57.8
埼玉県	74.8	70.2	58.7
全国	73.7	70.3	57.4



全ての問題形式で全国の平均正答率を上回っているが、「記述式」は埼玉県の平均正答率を下回っている。

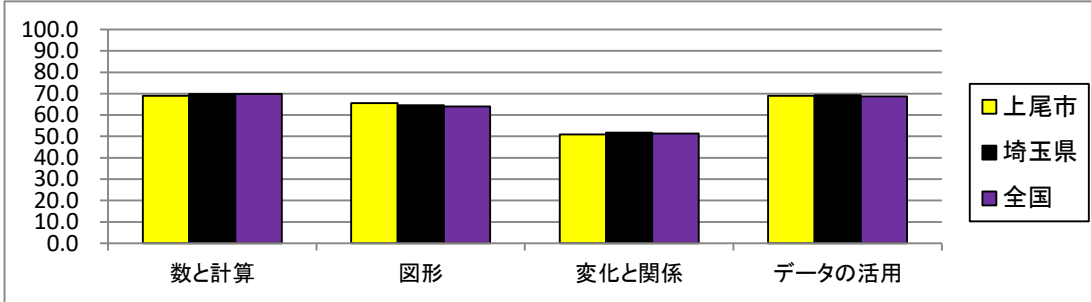
算数

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の領域別》

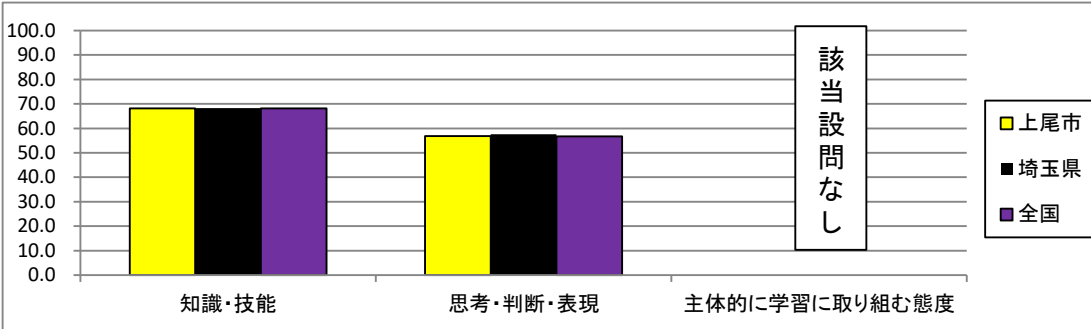
	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
上尾市	69.0	65.5	50.9	69.0
埼玉県	69.9	64.5	51.8	69.2
全国	69.8	64.0	51.3	68.7



「図形」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。一方で、「数と計算」、「変化と関係」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

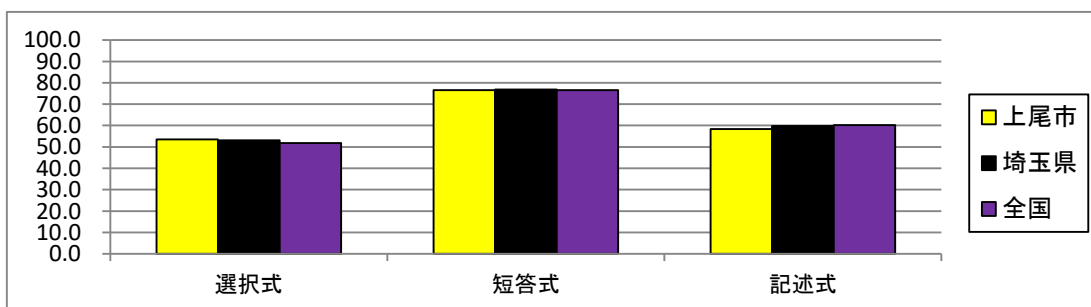
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	68.2	56.9	—
埼玉県	68.3	57.6	—
全国	68.2	56.7	—



「知識・技能」「思考・判断・表現」について、全国の平均正答率と同程度か上回っているものの、埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	53.5	76.5	58.3
埼玉県	53.1	76.8	59.8
全国	51.8	76.5	60.2



「選択式」では全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。その他の項目では、全国及び埼玉県の平均正答率と同程度か下回っている。

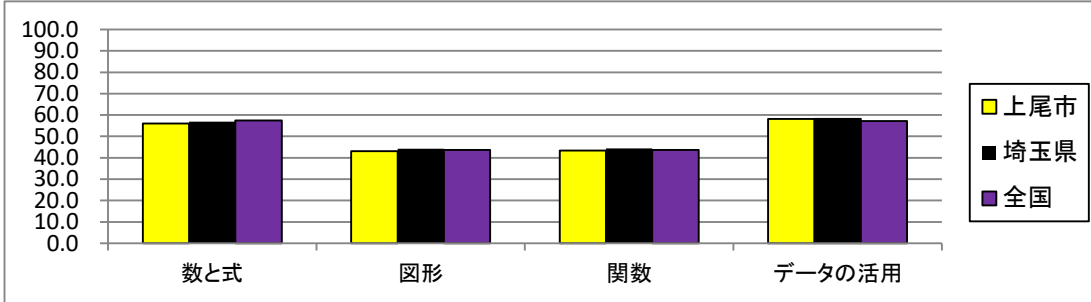
数学

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【中学校第3学年】

《学習指導要領の領域別》

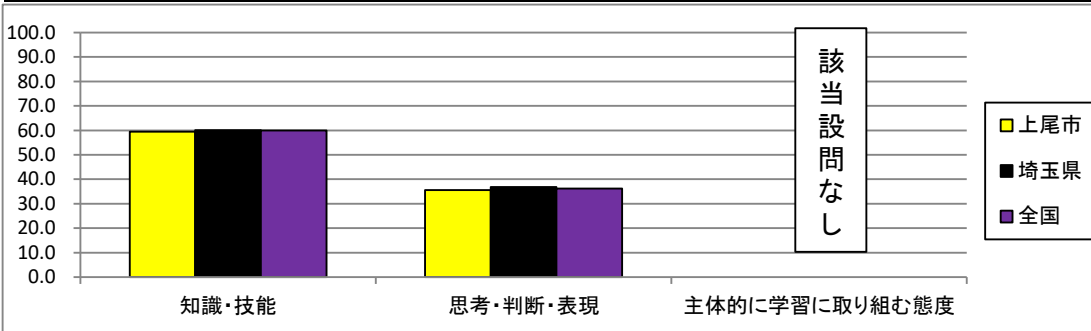
	数と式	図形	関数	データの活用
上尾市	56.0	43.1	43.4	58.1
埼玉県	56.9	44.2	44.3	58.2
全 国	57.4	43.6	43.6	57.1



「データの活用」では、全国の平均正答率を上回っている。一方で、「数と式」、「図形」、「関数」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

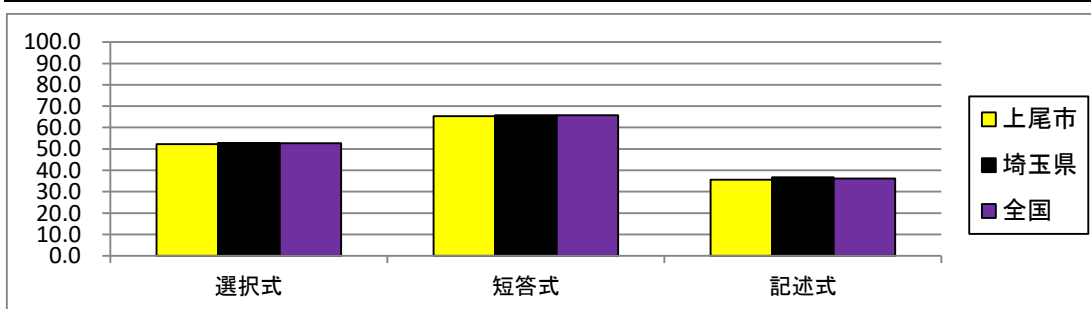
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	59.5	35.6	—
埼玉県	60.1	36.8	—
全 国	59.9	36.2	—



「知識・技能」「思考・判断・表現」について、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	52.2	65.4	35.6
埼玉県	52.8	65.8	36.8
全 国	52.6	65.7	36.2



全ての項目で、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

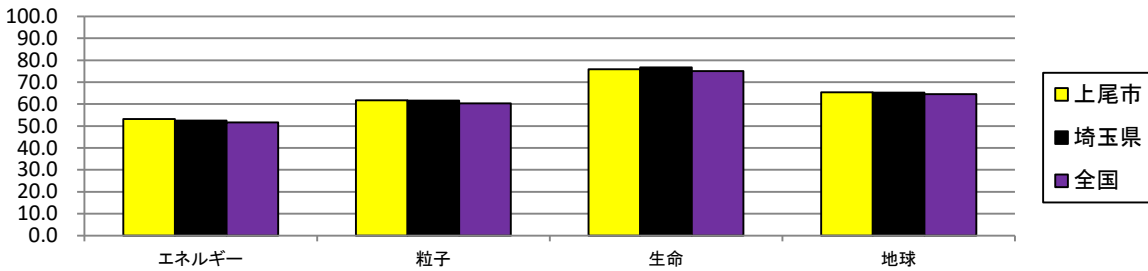
理科

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の区分・領域別》

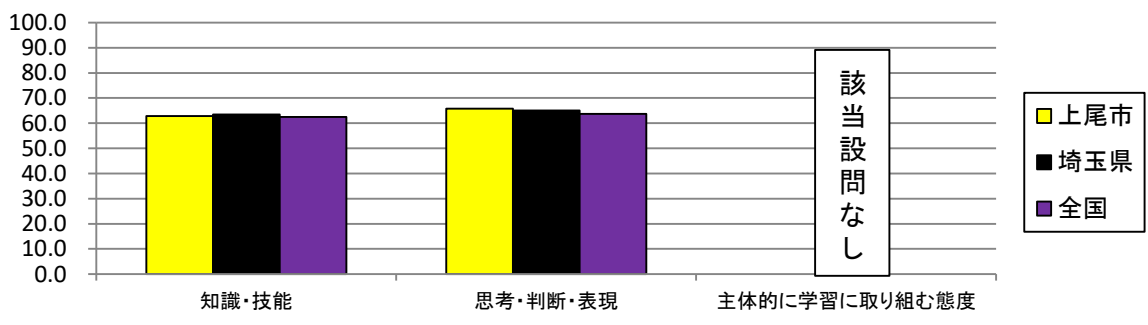
	A区分		B区分	
	エネルギー	粒子	生命	地球
上尾市	53.2	61.8	75.9	65.4
埼玉県	52.5	61.6	76.7	65.3
全国	51.6	60.4	75.0	64.6



全ての区分・領域において、全国の平均正答率を上回っている。なお、「生命」を除く全ての区分・領域においては、埼玉県の平均正答率も上回っている。

《評価の観点別》

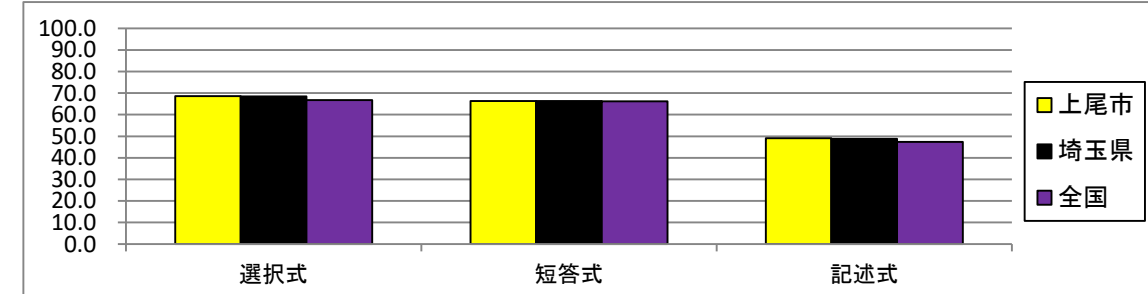
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	62.9	65.8	-
埼玉県	63.5	65.1	-
全国	62.5	63.7	-



「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国の平均正答率を上回っている。「知識・技能」については埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	68.6	66.3	49.1
埼玉県	68.4	66.3	48.8
全国	66.8	66.2	47.3



「選択式」と「記述式」は、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。「短答式」は、全国及び埼玉県の平均正答率と上回っているか同程度である。

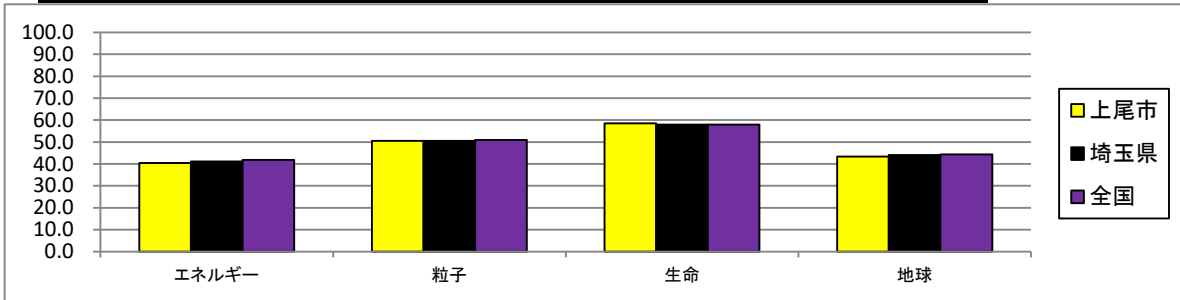
理科

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【中学校第3学年】

《学習指導要領の区分・領域別》

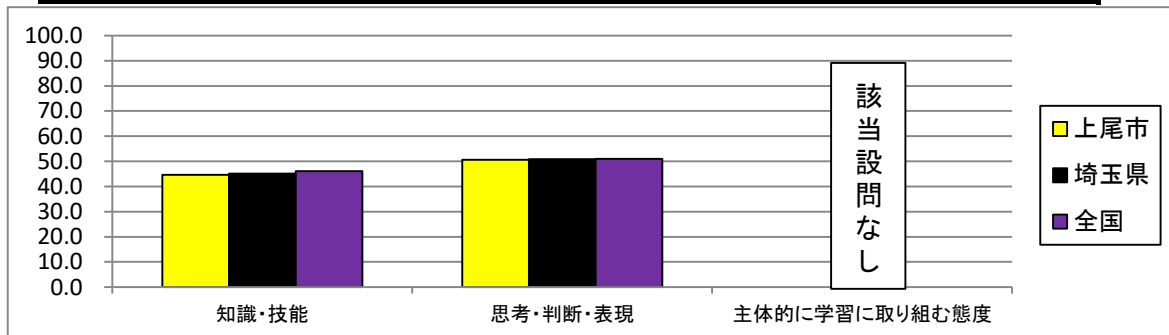
	A区分		B区分	
	エネルギー	粒子	生命	地球
上尾市	40.5	50.6	58.5	43.4
埼玉県	41.1	50.5	57.9	44.1
全国	41.9	50.9	57.9	44.3



「生命」を柱とする領域は、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。一方で、その他の領域については、全国及び埼玉県の平均正答率と同程度か下回っている。

《評価の観点別》

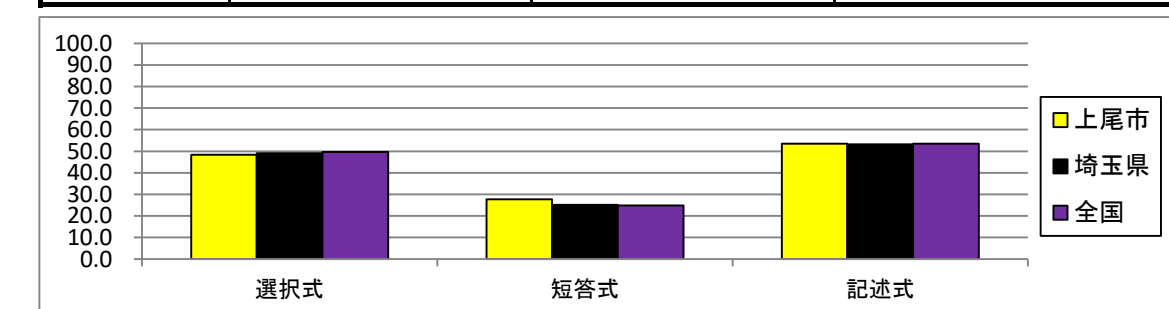
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	44.6	50.6	-
埼玉県	45.1	50.9	-
全国	46.1	51.0	-



「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	48.4	27.7	53.5
埼玉県	49.1	25.1	53.2
全国	49.6	24.8	53.5



「短答式」は、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。「選択式」は、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「記述式」の正答率は、埼玉県を上回っているが、全国と比較すると同程度である。

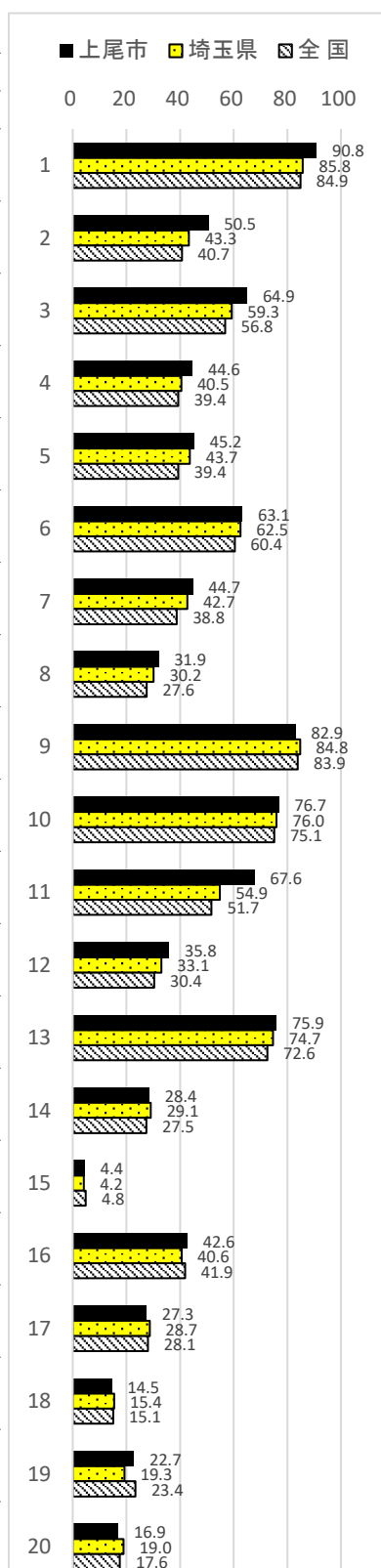
3 児童生徒質問紙回答結果(生活習慣に関する質問事項を中心に抜粋)

※ 網掛けは、全国の平均回答率を下回っているもの

【小学校(第6学年)】

平均回答率(%)

番号	質問事項	「はい」と答えた児童		
		上尾市	埼玉県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	90.8	85.8	84.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	50.5	43.3	40.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	64.9	59.3	56.8
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、 家の人と約束したことを守っていますか。	44.6	40.5	39.4
5	自分には、よいところがあると思いますか	45.2	43.7	39.4
6	将来の夢や目標を持っていますか	63.1	62.5	60.4
7	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	44.7	42.7	38.8
8	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	31.9	30.2	27.6
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	82.9	84.8	83.9
10	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	76.7	76.0	75.1
11	学校に行くのは楽しいと思いますか	67.6	54.9	51.7
12	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	35.8	33.1	30.4
13	友達と協力するのは楽しいと思いますか	75.9	74.7	72.6
14	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	28.4	29.1	27.5
15	新聞を読んでいますか	4.4	4.2	4.8
16	読書は好きですか	42.6	40.6	41.9
17	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあります か	27.3	28.7	28.1
18	今地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教 えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります (習い事の先生は除く)	14.5	15.4	15.1
19	今住んでいる地域の行事に参加していますか	22.7	19.3	23.4
20	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることが あります	16.9	19.0	17.6



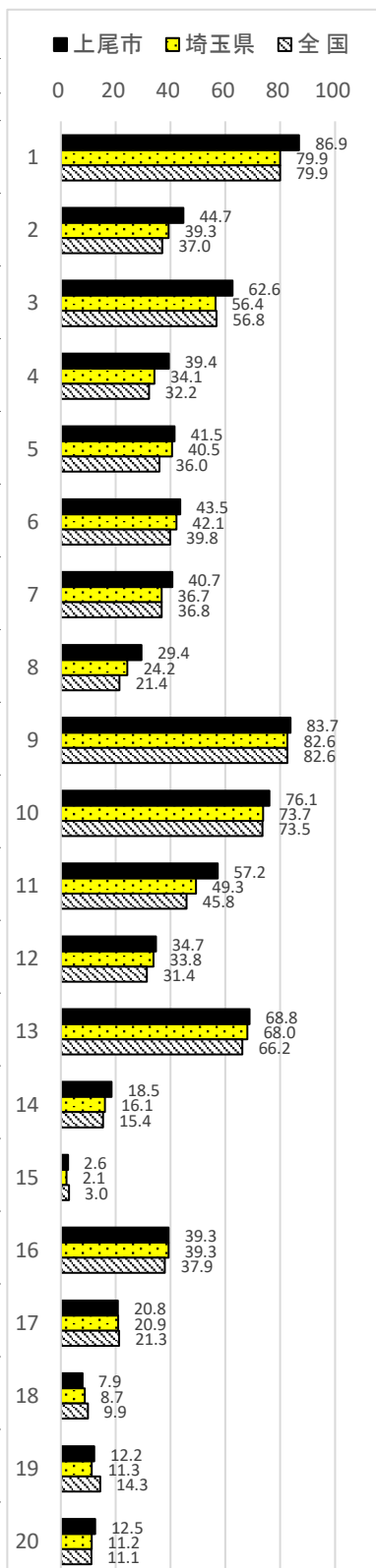
- 「朝食を毎日食べている」「同じ時刻に寝たり起きたりする」項目において、全国及び埼玉県平均を上回っており、生活習慣の確立が図られていることがうかがえる。
- 「学校に行くのは楽しい」と思う割合が全国及び埼玉県平均を大きく上回っており、充実した学校生活を送れていることがうかがえる。
- いじめに対する意識、新聞への関心、自然や地域との関わりに課題が見られる。

※ 網掛けは、全国の平均回答率を下回っているもの

【中学校(第3学年)】

平均回答率(%)

番号	質問事項	「はい」と答えた児童		
		上尾市	埼玉県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	86.9	79.9	79.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	44.7	39.3	37.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	62.6	56.4	56.8
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	39.4	34.1	32.2
5	自分には、よいところがあると思いますか	41.5	40.5	36.0
6	将来の夢や目標を持っていますか	43.5	42.1	39.8
7	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	40.7	36.7	36.8
8	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	29.4	24.2	21.4
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	83.7	82.6	82.6
10	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	76.1	73.7	73.5
11	学校に行くのは楽しいと思いますか	57.2	49.3	45.8
12	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	34.7	33.8	31.4
13	友達と協力するのは楽しいと思いますか	68.8	68.0	66.2
14	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	18.5	16.1	15.4
15	新聞を読んでいますか	2.6	2.1	3.0
16	読書は好きですか	39.3	39.3	37.9
17	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあります	20.8	20.9	21.3
18	今地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(習い事の先生は除く)	7.9	8.7	9.9
19	今住んでいる地域の行事に参加していますか	12.2	11.3	14.3
20	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	12.5	11.2	11.1



- 「朝食を毎日食べている」「同じ時刻に寝たり起きたりする」「携帯電話・スマートフォンの使い方」に関する項目において、全国平均を上回っており、生活習慣の確立が図られている。
- 将来の夢や目標をもつことや、難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦すること、学校を楽しんでいる生徒の割合が多く、充実した学校生活を送れていることがうかがえる。
- 新聞への関心、自然や地域との関わりに課題が見られる。

4 各教科の正答率の状況及び成果と課題

小学校

(1)国語

前回調査では「読むこと」に課題が見られたが、今回の調査においては、全国平均正答率を上回っている。また、「知識・技能」については、全国の平均正答率を大きく上回っており、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成が確実に図られている。

なお、「記述式」の正答率については、前回同様、今回も全国及び県の平均正答率を下回っており、自分で考えたことを文章で表現することについては課題である。

(2)算数

全国の平均正答率に対しては、前回同様下回っているものの、前回は1.2ポイント下回ったのに対して、今回は0.2ポイント下回っており、差は縮まっていることから改善傾向にあると言える。また、前回全国の平均を大きく下回った図形領域については、今回の調査では全国の平均正答率を大きく上回っており、指導方法の適切な改善が行われたと考えられる。なお、「記述式」の正答率については、全国及び県の平均正答率を下回っており、自分の考えの根拠について、数や式、言葉を使って表現することに課題がある。

(3)理科

全国の平均正答率に対して、全体では1.7ポイント上回っている。また、観点別や問題形式別の平均正答率も全国の平均正答率を上回っていることから、主体的・対話的で深い学びに基づいた授業が効果的に行われていると考えられる。

なお、内容別の「生命」を柱とする領域の問題では、生き物の体のつくりに関する問題で、平均正答率が全国を下回っており、学習した内容と自然観察の結果とを結びつけて理解することに課題がある。

中学校

(1)国語

今年度から調査の観点が変わり、前回と単純に比較することはできないが、全国の平均正答率を上回っていることから、全体としては改善傾向にある。また、内容についても、前回の調査で全国の平均正答率を大きく下回っていた「書くこと」、「読むこと」が、全国の平均正答率を上回っていることから、指導の改善が効果的に行われたと考えられる。

なお、「記述式」の正答率については、前回よりも全国との差は縮まってはいるものの、自分で考えたことを文章で表現することについては課題である。

(2)数学

今年度から調査の観点が変わり、前回と単純に比較することはできないが、前回の調査で課題のあった「資料の活用(今回の調査ではデータの活用)」の平均正答率が、全国を上回っていることから、指導方法の適切な改善が行われたと考えられる。

なお、「記述式」の正答率については、全国及び埼玉県の前平均正答率を下回っている。さらに、観点別に見ても、「知識・技能」、「思考・判断・表現」のどちらの項目も全国及び埼玉県平均正答率を下回っていることから、自分の考えの根拠について、数や式、言葉を使って表現することを授業の中で適切に取り入れた指導方法の工夫改善が必要である。

(3)理科

全国の平均正答率に対して、全体では0.3ポイント下回っており、観点別でも全国の平均正答率及び埼玉県の前平均正答率を下回っていることから、課題が大きいと言える。問題別に見ると、考察の妥当性を高めるために、実験の計画をどのように改善するかを説明する問題で平均正答率が低く、無解答率も高くなっている。従って、自分の考えたことについて、考えの根拠を明確にしながら、話し合いの場面を設定するなど、指導方法の工夫改善が必要である。

まとめ

全国の平均正答率に対して、小学校では、国語、算数ともに前回調査と比較して改善の傾向が見受けられ、授業の質的改善がなされている。また、中学校でも、前回調査で課題のあった国語の平均正答率が全国の平均正答率を上回り、数学では、全国の平均正答率との差が大きく縮まるなど、改善の傾向が見受けられる。また、今回調査で実施された、理科については、小学校で全国の平均正答率を上回る一方で、中学校では、全国の平均正答率を下回るなど、小・中学校の学習内容の接続に課題が確認できた。質問紙調査では、学校生活に対する肯定的な結果が得られたが、身の回りの自然や地域との関わりには課題が残る結果となった。以上のことから、今後は、学習指導要領の趣旨を全教職員が理解し、児童生徒一人一人の資質・能力の育成に視点をあてた授業改善を継続して行うとともに、家庭・地域と連携しながら学習したことを広げ、深めていくことが重要である。